

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	27800	観光事務費(観光物産協会への支援)	予算科目	会計	一般	款	7	項	1	目	3	事業種別	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☒ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
施策体系	基本施策	3		観光の振興	根拠法令	特になし									
	施策の展開	7		観光情報発信の推進	戦略事業	33	旭市観光物産協会への支援								
施策の展開					戦略事業										

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		観光事業者や観光イベントを開催する実行委員会が加盟している観光物産協会を支援するとともに、観光物産協会と連携して観光情報等の効果的な発信、PRを行い観光客の誘致を図る。観光物産協会はイベント等でのPR活動補助を行う。 職員の業務内容：観光協会等への補助金交付		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
旧旭市及び飯岡町において観光産業発展の核となつて活動している観光協会等に対し助成を行つていた。		市町合併後も、各観光協会等はそのまま並立しており、市からの助成は各団体ごとに行われていた。そのため、協会が一つになれば行える経費の削減やイベントの見直しが行われず、市商工観光課が各団体の運営やイベントに協力する時間が市町合併前より増加した。	市町合併から10年経過するのにあつて観光協会も一つになり「オール旭」の体制で観光のPRを行つて欲しい。(市内観光業従事者)もつと積極的に旭市の観光や物産をPRして欲しい。(市民)イベントの内容がマンネリ化している。見直しの機会では。(市民)	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)		単位: 千円
1.補助金等	7,592	旭市観光物産協会補助金、宿泊組合補助金
	0	
	0	
	0	
2.その他	1,159	旅費・需用費・役務費・負担金・公課費など
② 特定財源の内訳(27年度の決算)		単位: 千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

事業費	費目内訳	1. 補助金等	千円	11,724	11,724	13,369	7,592	11,509
			千円					
		千円						
		千円						
	2. その他	千円	2,014	1,110	1,154	1,159	634	
	事業費計 (A)		千円	13,738	12,834	14,523	8,751	12,143
財源	1. 国庫支出金	千円						
	2. 都道府県支出金	千円						
	3. 地方債	千円						
	4. その他	千円					500	
	5. 一般財源	千円	13,738	12,834	14,523	8,751	11,643	

前年度増減理由	補助金の交付先を見直し、各イベントについては直接実施主体に交付することとしたため。(観光イベント事業へ移動)
---------	--

従事職員数	常時	1人	最大	2人	×	19日	=	延べ	38人
-------	----	----	----	----	---	-----	---	----	-----

前年度増減理由	補助金の交付先を見直し、各イベントについては直接実施主体に交付することとしたため。(観光イベント事業へ移動)
---------	--

従事職員数 常時 1人 最大 2人 × 19日 = 延べ 38人

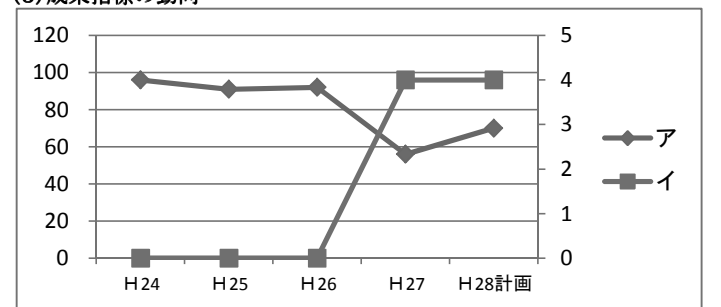
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)		ア 観光協会等への助成額	千円	11,724	11,724	13,369	7,593	11,509
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	対象 観光協会、宿泊組合 意図 観光協会等を支援することにより、民間主導の観光イベント開催、PR活動が積極的に行われ市観光発展の一翼を担う。 対象意図 イベント等に参加する市内外の方 市内外の方に旭市の魅力を広く知ってもらおう。		ア 観光協会、宿泊組合加入者数(1団体も1人とカウント)	人	96	91	92	56	70
			イ 観光物産協会職員によるイベント等でのPR活動日数	日	0	0	0	4	4

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				②コスト削減優先度評価結果				
		成果向上余地			コスト比率			
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3	
施策貢献度	大きい		②		成果優先度 評価結果	①		
	普通					②	(2)	
	小さい					③		
						④⑤		
				⑥				
					⑦⑧			
					⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】(停滞・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	比較
	【コメント】(低下の場合、その理由)	H27年度に観光協会の統合が図られ、観光物産協会が誕生したが、会員については、旧観光協会が団体として加入したため、個人会員の数が旧協会の会員数の合計と同じにならなかった。				23年度24年度25年度26年度27年度28計画
③ 今年度取組事項(今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容				成果動向
	通年	観光物産協会の会員が増えるよう、観光物産協会事務局と協力し、イベント参加やパンフレット掲載における協会員優先のメリットを検討していきたい。				☐ 拡大 ☒ 縮小 ☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他 ()
		今後の方向性				積極的に会員を増やし、また収入を得られる事業を行うことで補助金依存を小さくする。